

ポジティブ・アクションの取り組み状況と課題

1. 4月26日 パンフレット「2020年30%」の目標の実現に向けて  
 会員450名に送付
  - ・広報誌「国女振ネットワーク」135号にPA小委員会報告記事掲載
2. H23 研修事業テーマを「ポジティブ・アクション」とする。
  - ・海外研修：スウェーデン王国、USA 東部      ・国内研修：茨城県、埼玉県その他
3. ポジティブ・アクションに関わる会員の活動状況調査      H23年5月31日現在

		人数	%	備考
1	議会議員	10	2.9	
2	委員会・審議等	54	15.9	
3	教育委員会等	16	4.7	
4	非常勤業務の方	46	13.5	指導員、相談員等
5	勤務体制の方	10	2.9	教頭相当職以上
6	企業、自営等	19	5.6	
7	団体役員、団体指導者等	95	28	
8	ボランティアその他	90	26.5	
	複数回答	340	100	

(全国15地域、会員数404名、調査人数375、回答数282名、回答率75、2%)

\*福島県支部は東日本大震災後、被災者も多く、被災者支援活動に関わっていて調査不能。

H20 調査では、市議会議員1名、委員・審議委員など26%、地域指導者26%であった。

\*2項「委員会・審議会等」は、充て職で複数の会議に関わっている人がいる地域がある。  
 若い人材の育成が急務である。

\*7項は地域活動が多く、無給か有給か判明しない。全体的に何か収入ありが多くなった。  
 当会では、退職後に地域リーダーになる会員が多い。

ポジティブ・アクション今後の取り組み

1. 海外視察研修事業：スウェーデン王国（11月6～13日）、  
 USA 東部（11月19～26日）、研修テーマにポジティブ・アクションを組み込む。
2. 18支部の研修テーマをポジティブ・アクションとする。      以上